



谷 義樹

学校再編について

問 篠山市の学校統廃合は、保護者や地域住民の機運が自主的に醸成されるのを待って進めたと聞く。この取組をどう思うか？

答 住民の声が出てから進めるのが楽かもしれないが、各学校の児童数や耐震問題を総合的に考え、このまま放置しておくことは好ましくないと判断した。

問 説明会で、住民の理解がどの程度得られたと考えているか？

答 説明責任を何で判断するかは難しい。最終的には住民代表の議員さん方によって、議会の中で判断していただくことになる。

問 遠距離通学になる地域から、不公平だという意見が出ていますか？

答 本来的には真ん中の

一、学校再編について
二、「都市計画」と建築物の規制について

名月のあたりが良いが、比較的早くという中で、大阪府民牧場跡を候補地にした。真ん中でないということの不公平感は、当然あると思う。

問 新しい学校の特徴が見えてこないという意見に、どう答えるか？

答 実質的な小中一貫校で、教員の高いモチベーションや、各々で今まで進めてきた先進的な研究授業を活かし、質の高い教育を目指したい。

問 「送迎はいずれやめるのでは」という心配の声を聞く？西地区の送迎をどう考えているか？

答 義務教育の定めにより、遠距離通学については、行政で足を確保する。西地区については、中学校はほぼ現状通り、小学校は、おおむね3キロ以

上について考える。町全体の交通確保との関係は、運行を具体化する中で、今後協議する。

問 既設校舎の耐震計画が無いが、このままで良いのか？

答 新しい学校構想と並行しての、既設校舎の耐震化は考えていない。

問 少子化対策として、空き家銀行、農地銀行を計画できないか？

答 定住人口増加策として検討の余地はあるが、即組織を立ち上げるところまでは考えていない。

二、「都市計画」と建築物の規制については、字数の関係で、別の機会に譲りたいと思います。

一般質問



木戸 俊治

学校再編について

問 これまで各校区、関係団体及び区単位の住民説明会が開催されたが、種々の意見を受けて、町としてどのように反映させていくのか？

答 説明会などでいただいたご意見、特に通学に關することや跡地などの活用については、再編計画を進める中で、今後も地域の皆様のご意見を頂き進めてまいりたいと考えている。

問 各区での説明会で複数区の住民から、地元小学校の存続について、意見や強い要望が出されていたが、町としてどのように対応されるのか？

答 校区住民の総意であれば行政としても強行に再編することは避けるべきであると考えております。しかし極小規模化が進む中で、教育環境の整備の必要性は強く訴えていかなければならないと考えております。

問 これまでの住民説明会の、町のまとめを見せられても、全体的にはまだ時期が早いのではないかと、もう少し時間をかけてとの意見が半数以上を占めていると思われませんか？

答 また、地域の中で子どもが育つとの意見を聞くことは、私は特に小学校はやはり地域に必要ではないかと思っております。今後の町予定としては、希望する区等の住民説明会を行いながら、再編計画を進めると理解してよろしいか。

問 また、学校の中身が全然見えて来ない、これで納得のしようがないとの意見も出ておりましたが、この点についても伺いたい。

答 再編計画の今後の進め方ですが、23年度から設計等具体的計画に入っていきたいと思っております。新しい学校の中身は、能勢町の学校でこれまで積み上げてきた財産があり

ます。それは寄せることにより十分機能すると思えます。また先生がどのような熱い思い、使命感を持って、力も蓄えて日々の教育にかかるといいうことが大事なことであります。

問 スクールバスの運行について、町の総合的な見地としての構想が必要との考えを示しておられますがこの点について伺いたい。

答 遠距離通学となる児童生徒については、スクールバスによる通学を考えておりますが、地域の皆さんのご意見をいただき、住民の交通の必要性や可能性も視野に入れて計画して参りたいと考えております。

